

J Aバンク山梨における地域密着型金融の取組状況（平成 22 年度）

J Aバンク山梨（山梨県内 J Aと山梨県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク山梨中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 22 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク山梨の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク山梨は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク山梨は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 23 年 3 月末時点の J Aバンク山梨の農業関係資金残高^(注1)は 4,600 百万円（うち農業経営向け貸付金^(注3)残高 3,106 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 1,827 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク山梨が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの受託貸付金の取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

（注 3）農業経営向け貸付金とは、農業関係資金残高の合計から農業関連団体等を除く金額となります。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	23 年 3 月末現在
農業	3,106
穀作	146
野菜・園芸	254
果樹・樹園農業	809
工芸作物	
養豚・肉牛・酪農	122
養鶏・鶏卵	2
養蚕	
その他農業	1,771
農業関連団体等	1,493
合計	4,600

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	23年3月末現在
プロパー資金	1,535
農業制度資金	3,064
農業近代化資金	1,572
その他制度資金	1,491
合計	4,600

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク山梨が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 百万円

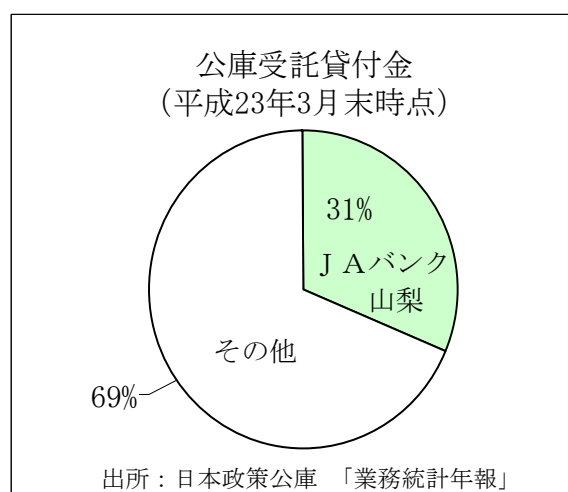
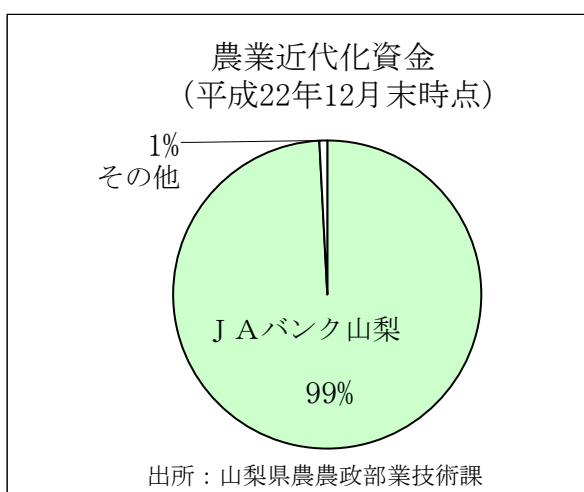
種 類	23年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1,827
合 計	1,827

(注)

JAバンク山梨では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク山梨における主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いは以下のとおりとなっています。

【山梨県における農業近代化資金および公庫受託貸付の残高シェア】



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク山梨では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内11 J Aの本店には18人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク山梨は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク山梨では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

	平成 22 年度 実行件数	平成 22 年度 実行金額	平成 23 年 3 月末 残高
就農支援資金（転貸）	2	3	83

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク山梨では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取組んでいます。

【平成 22 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち期中に再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
		a	b	c		
正常先 ①	3	2		3	66.7%	
要注意先	うち その他要注意先②	1	1	1	100.0%	
	うち要管理先③	1	1	1	100.0%	100.0%
破綻懸念先 ④	5	3		5	60.0%	
実質破綻先 ⑤	4	2		4	50.0%	
破綻先 ⑥						
	小計(②～⑥の計)	11	7	10	63.6%	9.1%
	合計	14	9	13	64.3%	7.1%

注)

・ 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 22 年 3 月末時点でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク山梨では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク山梨では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 22 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	平成 23 年 3 月末 残高
大家畜経営体質強化活性化資金	24
大家畜経営活性化資金	14
畜産緊急特別支援資金	76
合計	114

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク山梨では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

山梨県内の J Aでは、災害等の被災者を支援するため、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実 行金額
災害資金（ベト病対策資金）	J Aフル ーツ山梨	ぶどうの「ベト病」により被害を受けた農家組合員に対する低利な資金対応。	42	49

(2) 食農教育応援事業の展開

J Aバンク山梨は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県内の小学校 192 校へ、10,000 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

〈教育委員会等からいただいた主な意見〉

- ・ 児童の皆さんは教材本の内容について親や家族へも伝えてもらいたい。また、授業のあらゆる科目で利用してもらいたい。
- ・ 小学校の授業の一環として農業に対する教材等を提供いただけるのはありがたい。
- ・ 子供達も土に触れる機会も減少しているので親子で体験できるイベント等の開催企画もいただきたい。
- ・ 小学生に農業について関心を持たせるこのような取組みは必要。
- ・ 今後も継続して欲しい。

また、県内JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【主な活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAフルーツ山梨	夏休み子供工作教室および食育教室	管内の小学生を対象とした地元野菜・果物を有効利用する地産地消を取り入れた学習活動。
JAふえふき	農業体験	大豆の栽培体験や地元特産のトウモロコシの皮むき体験により食の文化や地産地消を図る取組み。
	果実出荷施設見学と桃試食会	特産品の桃がどのような出荷工程で消費地に運ばれるか学び、地元の桃の試食と桃の良さを学ぶ取組み。
	学校給食への桃の提供と果物教室の開催	都会の子供達に桃を皮ごと試食してもらい、併せて果物の良さと果物作りの苦労の理解を図る取組み。
JAふじかわ	農業体験	小学生による農業体験（種まき・収穫・加工品作り）を通じた食農教育の取組み。
	学校給食への地元食材の提供	学校給食者、生産者と連携し、学校給食への地元農産物の提供を実施する取組み。
JAこま野	親子料理教室	管内小学生とその家族による地元の農産物を使用した親子料理教室による食農教育の取組み。
JA梨北	郷土食フェスタ	次世代の子供達に、地元の郷土料理を伝えるとともに、地元野菜の地産地消の取組み。
	夏休み親子料理教室	小学校児童とその家族で地元の米・野菜を使い、地産地消を取組むとともに、安全で安心した食への関心を高める取組み。
	農業体験学習支援	管内の小学校へ、農作物栽培のための堆肥「土の里」を配布し農業栽培のアドバイスを実施する取組み。
JA北富士	地域食育活動	地元の子供たちに野菜作りをなどの体験を通して食の大切さ、地元野菜および農業への関心を高める取組み
JA中巨摩東部	親子料理教室	地元産のお米を使い、おにぎりとして食しながら食育教育について学ぶ取組み。
	農業体験	じゃがいもやさつまいもの栽培を通して農業の大切さや作物の育成について理解を深める取組み
JA鳴沢村	環境保全活動	地元小学校への緑のカーテン作りの支援活動の取組み。

(注) JAバンク食農教育応援事業による活動を一部含みます。

以上